

とちぎ
2004

県政のあゆみ

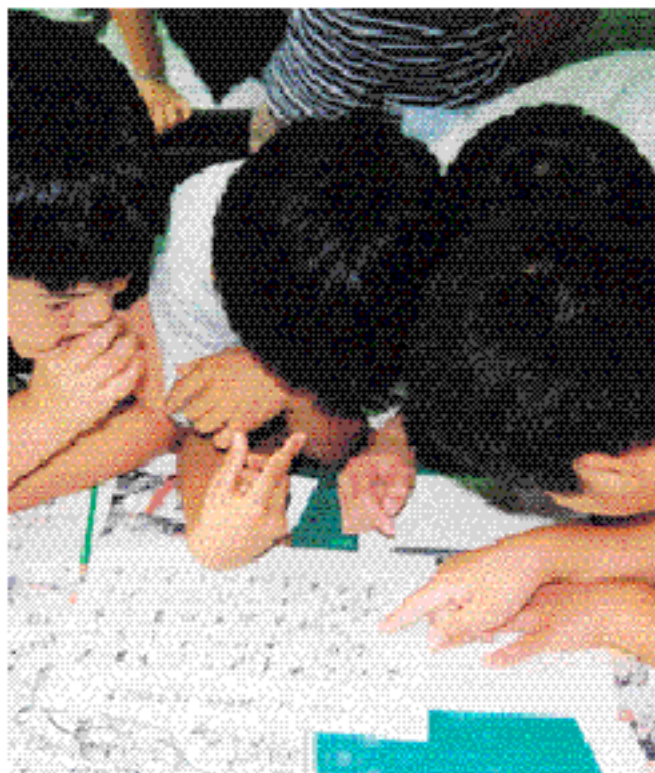
2005年 3月号別冊

2005年3月1日発行

編集・発行：栃木県広報協会

栃木県のホームページ

<http://www.pref.tochigi.jp/>





落石、土砂崩れの難所解消 「五十里バイパス」が開通

栗山村西川（海尻橋交差点）と藤原町五十里を8本の橋と2つのトンネルで結ぶ一般国道121号「五十里バイパス」が1月15日に全線開通しました。本バイパスの開通により、落石や土砂崩れなどの危険箇所が17か所解消されるとともに、大型車のスムーズな交通が確保され、冬期間でも安全で円滑な通行が出来るようになり、安全性や快適性が大幅に向上しました。また、藤原町や栗山村の地域振興や観光客の増加など、日光地域の活性化が期待されています。

交流で食と農の理解促進 「とちぎアグリプラザ」が開所

本県農業の明日を担う経営体の育成や消費者と生産者の交流促進、さらには食と農の理解促進などを総合的に推進するための拠点施設として「とちぎアグリプラザ」が2月13日に開所しました。アグリプラザには、食と農に関する各種

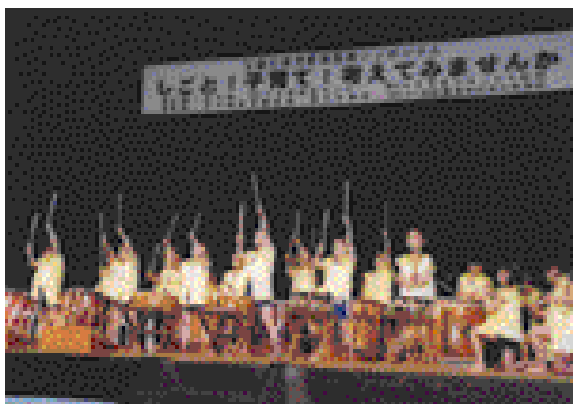
相談や情報収集コーナー、旬の農産物利用による調理実習コーナーなどが整備されています。また、各種研修会や会議など幅広く利用できる研修室なども整備されており、食と農の理解促進や消費者と生産者の相互交流を目的とした各種講座も年間を通して開催されるなど、幅広い取組が行われています。





子育ての意義を考えよう 父親の育児参加促進シンポジウム

県は、男性を含めた働き方の見直し、地域における子育て支援など、仕事と家庭の両立を進める総合的な取組を積極的に進めています。2月21日には「父親の育児参加促進シンポジウム」が開催され、



男性が子育てに関わる意義や事業所などをはじめとした社会のしくみづくりの必要性などが話し合われました。同時に開催した「親と子で遊ぶミニコーナー」では、親子が共に楽しいひとときを過ごしました。



移転への精力的な審議を 国会議員と8府県知事が懇談

3月30日、国会等移転先3候補地の8府県知事は、東京で「国会等の移転に関する政党間両院協議会」委員との懇談会を実施しました。知事側からは、両院協議会の委員に対し、移転についての精力的な審議がなされるよう申し入れました。また8府県知事は、今後話し合いの場をもち、お互いに協力していくことを合意しました。





愛称は「ウインディなす」

「なす高原自然の家」がオープン

なす高原自然の家(那須町湯本)が4月1日にオープンしました。この施設は、那須高原の豊かな自然と触れ合いながら、団体活動を支援して青少年の健全な育成と生



涯学習の振興を図っていくための施設です。愛称も公募し「ウインディなす」と決定しました。出会い、ふれあい、感動体験をモットーに、自然や人・動物とのふれあいや交流、ものづくり体験などを通じた感動を味わえるような支援を行っていきます。



木材研究開発の新拠点

県産材の需要拡大を推進するた

め、木材研究施設が県林業センター(宇都宮市下小池町)内に4月27日にオープンしました。この施設は、県民のニーズに応える高品質な木材製品を生産するための加工技術や、木材の新たな用途開発などに関する試験研究を行う一方、オープンラボラトリーとして

施設を開放し、民間企業の技術・製品開発を支援するなど、木材研究開発の拠点として活用が期待されます。

田園空間を展示物に

園空間博物館総合案内所

「田園空間博物館総合案内所」が併設の那須野が原博物館とともに4月23日にオープンしました。この施設では、那須野ヶ原に広がる田園空間そのものを展示物とみためて保全・復元した豊かな自然や水・開拓にまつわる史跡などを紹介しています。皆様のご来館をお待ちしています。





レース会場で観光・物産展 「やすらぎの栃木路」フェア

4月15日から17日までの3日間、茂木町のツインリンクもてぎで「インディジャパン300マイルレース」が昨年に引き続き行われ、10万4000人の方が世界的レースを楽しみました。このレースは、1911年に始まった歴史と伝統を誇るモータースポーツ「インディアナポリス500（通称インディ500）」を頂点とするインディカーシリーズの第3戦として、アメリカ以外で唯一開催されました。期間中、「やすらぎの栃木路フェア in インディ」として本県の観光と物産をPRするとともに、本県と姉妹提携を結んでいるインディアナ州との友好交流イベントを行いました。

就職までを一貫サポート 「とちぎ就職支援センター」オープン

4月5日、県庁南庁舎2号館に「とちぎ就職支援センター」を開設しました。それまでの「学生職業情報センター」と離転職者を対象にした「再就職支援センター」を統合・拡充し、職業相談や能力開発講座の紹介、求人情報の提供、職業紹介など、就職に至るまでの一貫したサービスをワンストップで提供するなど、求職者の適性やニーズに応じたきめ細かな支援を行っています。また、センターでは学校と連携して啓発セミナーを開催するなど、若者の職業意識形成などにも取り組んでいます。





県民参加で森林づくり

小山市で県植樹祭

「澄んだ水 緑の力で 海までとどけ」をテーマに、県植樹祭が5月8日に小山市で開催されました。県植樹祭は、県民参加による森林づくりの気運を盛りあげ、県土の緑化を推進するための中心的な行事として県と市町村の共催で毎年開催しています。今回は小山市総合公園を会場に、緑化功労者の表彰や新設された緑の少年団への団旗授与などの記念式典や、知事、小山市長、小山市民による記念植樹が行われました。



洪水から県土を守る

利根川水系連合水防演習

地域の人たちと行政機関が一体となって水害に備えようと、5月22日に宇都宮市道場宿の鬼怒川河川敷で水防演習が開催されました。洪水を想定した水防訓練では、宇都宮市水防団、地元の中生や女性水防隊が土のう積などを実施し、救出・救護訓練では、自衛隊のヘリコプターや県警機動隊などによる訓練が行われました。また、非常食の炊き出し訓練も行われ、見学者に配布されました。

難病患者や家族を支援

とちぎ難病相談支援センター

5月20日、「とちぎ難病相談支援センター」をとちぎリハビリテーションセンター（宇都宮市駒生町）内に開設しました。地域で生活する難病患者などの日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進と就労支援をするため設けたものです。センターでは、難病患者とその家族の方々が抱える悩みや不安などを解消し、安定した療養生活が行えるよう面接や電話相談にあたっています。

電話 028(623)6113
FAX 028(623)7255





高齢者の祭典に8000人

ねんりんピックとちぎ

とちぎ健康の森・宇都宮市内の競技施設などを会場として5月26、27日に「健康・生きがいフェスティバル」、30日に「スポーツ・文化交流大会」が開催されました。ガッツ石松さんの記念講演や日本画をはじめとするシルバー作品展、卓球や太極拳など、17種目の競技大会などさまざまなイベントが行われ、県内各地から参加された元気高齢者の皆さまが日頃の鍛練や努力の成果を披露されるとともに、地域・世代を越えた交流の場として盛り上がりました。



熱い情熱を燃やし続けて

県ゆうあいピック大会

5月29日栃木市総合運動公園で第9回県ゆうあいピック大会が開催されました。この日は天気恵まれ、1300人を超える選手が参加。たくさんさんのボランティアに支えられながら陸上やフライングディスクなどの競技に汗を流しました。知的障害者の健康の保持・増進のために開催されてきたこの大会は、05年度から身体障害者スポーツ大会と統合されて「障害者スポーツ大会」として生まれかわることになりました。



地域のふれあいを求めて

県民の日記念イベント

“地域のふれあいを求めて”をテーマに県民の日記念イベントが6月12日、13日に那須野が原公園で開催されました。「県民の日」は、1873年6月15日に当時の栃木

県と宇都宮県が合併しおむね今の栃木県が誕生したことを記念して制定されたもので、イベント当日には、県民参加の音楽祭やウォークラリー、市町村などの出展コーナー、フリーマーケットなど、様々な催しが行われ、期間中のべ8万人の来場者でにぎわいました。



1200人が自然を満喫
第46回自然公園大会を開催
7月28日・29日の2日間、第46回自然公園大会（環境省、栃木県など主催）が、日光国立公園の塩原町（現・那須塩原市）箱の森ブレイパークをメイン会場に開催さ



れました。式典には、常陸宮同妃両殿下のご臨席のもと、全国からの招待者や県内の緑の少年団など約3500人が参加しました。自然観察会やウォーキングなど、多彩な20コースが用意された自然体験活動には、約1200人が参加し、会場周辺の豊かな自然とのふれあいを満喫しました。

今年も73社を認承

エクセレント4社を表彰

県では、独自の優れた技術や製品を有する企業を「フロンティア企業」として認証し、様々な支援を行う施策を展開しています。今年も、7月23日に県公館にて認証式が行われ、知事から73企業（昨年度認証91企業）に認証状と副賞のメダルが手渡されました。また、認証企業の中から特に高い業績をあげている4企業を、エクセレント企業として表彰しました。認証した企業に対しては、テレビ・新聞・ホームページ・PR冊子などを通じて、積極的なPRに努めるとともに、さらなるステップアップのための支援を行っています。



スマートICを社会実験

ETC専用インターの導入へ

「SA・PAに接続するスマートIC社会実験」の第一次採択が7月23日に発表され、県からは、東北道上河内サービスエリアと那須高原サービスエリアの2か所が採択を受けました。現在、地区協議会を設置し、社会実験に向けて準備を進めています。「スマートIC」はETC専用インターチェンジとして、高速道路の利便性の向上や地域活性化などの整備効果が見込まれています。

事業推進の環境が整う

北関東道の地元調整完了

北関東自動車道佐野市設計協議確認書の調印式が7月6日に佐野市役所で行われました。これにより、北関東道（延長約150キロメートル）の全区間で設計協議が完了しました。今後は早期全線開通を目指し、用地取得や本工事の実施など本格的な事業を進めていきます。北関東道は、群馬・栃木・茨城の三県を結ぶ高速道路で、県内では、栃木都賀ジャンクションから宇都宮上三川インター間で部分開通しています。



県境を越えて広域連携

初の五県知事会議

本格的な地方分権の時代を迎えようとしている中、隣接する五県の県境を越えた広域的な連携を強化するため「第1回福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県知事会議」が7月30日、県公館で開かれました。この日は「広域的な地域ネットワーク網の形成」や「廃棄物の不法投棄対策の強化」などの議題について話し合うとともに、市町村合併の現状などについて意見交換が行われました。会議は毎年開催され、来年は福島県で開かれる予定です。



みんなで古文書を解読だ

なんじゃもんじゃ探検隊

今年で3回目になるこの事業は、小学校高学年を対象に7月から8月にかけて実施しました。難しいと思われがちな「古文書」を使って、楽しみながら昔のことや昔の生活などを考える企画です。5人1組になって筆で文字を書いたり、くずし文字の読み方を知ったり、江戸時代の庶民の生活や文化に関する古文書を読んだりして、ゲーム感覚で楽しく学べるようプログラムしています。将来、文化に理解のある人になってくれることを期待しています。

入館者100万人達成！

なががわ水遊園おもしろ魚館

県なががわ水遊園は、来園者が様々な体験を通して学び、楽しむことができる水族館で、水と緑にあふれる多彩なアウトドアレクリエーションの場としても利用されています。01年7月のオープン以来、多くの方々に御来園いただきお陰様で04年8月29日に、おもしろ魚館の入館者が100万人を達成いたしました。これからも四季折々の催しを企画して皆様のお越しをお待ちしています。



高度な専門医療を提供

子ども医療センター

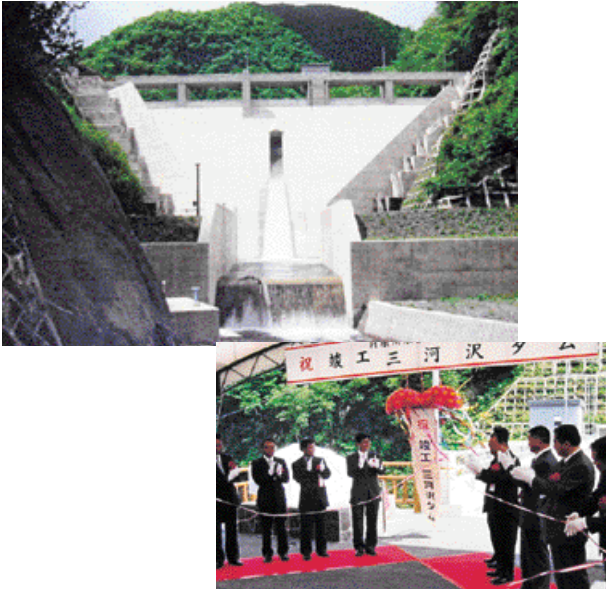
県小児医療体制整備構想に基づいて、獨協医科大学が整備してきた獨協医科大学とちぎ子ども医療センターが8月20日にオープンしました。同センターでは、白血病などの血液疾患や成長障害などの内分分泌疾患に対する高度な専門医療を提供していきます。また、自治医科大学にも、先天性心疾患をはじめ、発達障害や精神・心理疾患に対応する子ども医療センターを整備中で、06年度後半の開設を予定しています。



洪水を防ぎ水道水を確保

三河沢ダムが竣工

栗山村湯西川の三河沢川に建設を進めてきた三河沢ダムが完成し、9月7日、来賓や多くの関係者が出席し、盛大に竣工式が行われました。三河沢ダムは、湯西川の洪水調節や河川流量維持および水道用水確保を目的とした重力式コンクリートダムで、高さ48・5メートル、幅97・5メートル、総貯水量89万9000立方メートルを誇ります。三河沢ダムの完成により、これまで洪水による被害をたびたび受けてきた湯西川地区の洪水対策が図れるほか、観光客の増加により不足してきている水道用水が確保できることとなります。



人にやさしい新校舎落成

県立のざわ養護学校

9月1日、県立野沢養護学校は、宇都宮市岩曾町に移転し、校名を「のざわ養護学校」と改め、教育活動を開始しました。10月19日には校舎の落成記念式典が行われました。新しい校舎は児童生徒一人ひとりの障害に対応できるよう、車いすでも使いやすい全天候型グラウンドや温水プールをはじめ、太陽光発電や雨水利用などを備えた、「人と環境にやさしい施設」になっています。

宇都宮競馬の廃止を決定

北関東から地方競馬が姿を消す

10月19日、県は赤字が続いている県営宇都宮競馬を04年度末で廃止すると発表しました。県営宇都宮競馬は、1948年開催以来、56年間という長い間、多くの県民に健全娯楽として親しまれてきました。また、その収益により地方財政に多大な貢献をするとともに、地域経済にも大きく寄与してきました。



各地で生涯スポーツの祭典 スポーツレクリエーションフェスティバル

9月18日に県総合教育センターにて行われた「総合開会式」を皮切りに、9月26日、10月3日には「県民スポーツ大会」が、10月11日には高根沢町で「レクリエーションフェスティバルin塩谷」が開催されました。総合開会式では元オリンピック選手による記念講演会が行われました。県民スポーツ大会では市町村対抗で24競技が、レクリエーションフェスティバルin塩谷では、グラウンド・ゴルフやインディアカなどの大会が開催され、のべ4万人がスポーツに汗を流しました。



広域交流で地域づくり

FIT交流フェスティバル

県は、広域的な交流と連携による地域づくりに取り組んでいます。今年度も、福島県、茨城県、関係市町村とともに「FIT交流フェスティバル」を、群馬県等と「両毛交流ウォーキング」を実施しました。9月19日になかがわ水遊園（湯津上村）で開催した「FIT交流フェスティバル」では、地域の紹介、特産品の販売、郷土芸能の披露など多彩な催しを行い、会場は多数の来場者で終日賑わいました。

新しい総合計画策定へ

第1回総合計画懇談会

第1回栃木県総合計画懇談会が、10月6日に県公館で開催されました。県では現在、06年度を初年度とする総合計画の策定を進めています。今回の懇談会では、これからの望ましい「とちぎ」のあり方などについて、委員の方々から多くのご意見をいただきました。今後も、懇談会をはじめとして、多くの県民の皆さまのご意見をいただきながら、新しい総合計画を策定していく予定です。



地域や経済を活性化

とちぎ国際化推進戦略会議

とちぎ国際化推進戦略会議が、4月21日と10月8日に開催されました。会議は、各方面で活躍されている25人の有識者の委員と本県出身でノルウエー大使などを務めた河合正男氏を顧問に迎え構成されています。会議では加速する経済や社会の国際化に対応するため、産業や教育の国際化、外国人との交流など4つの分野で、本県独自の政策展開を図るための戦略的な取組について、05年2月の提言と取り組みに向けた活発な議論が行われました。





被災地に医療チーム派遣

新潟県中越地震

新潟県中越地震により被害を受けた同県と小千谷市からの要請を受け、県は10月29日から11月4日まで医療救護チームを派遣しました。派遣チームは、第1陣に県立がんセンター、第2陣に済生会宇都宮病院の医師や看護師などの各5人のスタッフを編成し、派遣しました。



被災地では、小千谷市健康センターを拠点として、他の県から派遣された医療チームと連携しながら巡回診療を行いました。また、保健師も、厚生労働省の要請により、10月31日～11月18日の間、2名ずつ1週間交替で派遣しました。被災地では避難所や地域住民全体の健康管理に関する支援（健康相談、家庭訪問など）を行いました。



学校や地域で食育推進

食育推進ボランティアを認承

県では、学校教育や地域活動の場で「食や農」に関する知識や経験を話したり、郷土料理の伝承実習、農業体験の受け入れなどに協力いただく方々を「食育推進ボランティア」として登録しています。その登録式と研修会が、10月6日県総合教育センターで開催されました。この日は、54人と71の団体の方が登録証を受け取りました。このあと雑誌「食べもの文化」編集長の安藤節子さんによる記念講演なども行われました。

北関東道の早期全線開通を

北関東道同盟会総会

北関東自動車道の早期全線開通を目指す「北関東自動車道建設促進期成同盟会」の総会が10月8日に東京都内で開催されました。この同盟会は、北関東道の沿線の県や市町村で構成され、当日は会長である本県知事をはじめ、構成団体の首長など関係者が出席する中、「北関東道の全線開通の早期実現」を決議し、国土交通省や日本道路公団などの関係機関に要望を行いました。





子どもの読書活動を推進

子ども読書活動推進フォーラム

県教育委員会は、04年2月に策定した「栃木県子どもの読書活動推進計画」に基づき、10月10日県総合文化センターで「栃木県子ども読書活動推進フォーラム」を開催しました。講演やパネルディスカッションを通じて、子どもの読書活動の意義や重要性について、理解と関心を深めることができました。参加者一人ひとりが、家庭・地域・学校など、それぞれの場で子どもの読書活動に関わっていただくことが期待されます。

リフォームエリアも設定 とちぎ住宅フェア

「ひとに・まちに・自然にやさしく」をメインテーマに、10月15日から17日まで「とちぎ住宅フェア2004」をマロニエプラザで開催しました。今年で20回目を迎えた当フェアには約1万8000人が訪れました。また、今回はリフォームエリアなど展示内容に沿った7つのエリアを設定し、県民の方の来場目的に応じた効率的な展示でフェアを盛り上げました。



不法投棄の根絶目指して

不法投棄防止のつどい

「不法投棄をしない！させない！許さない！」をテーマに10月22日、小山市立文化センター（小山市）で開かれました。県内の産業廃棄物排出事業者、処理業者、行政機関や廃棄物監視員など、240名が参加し、代表者から、自然に恵まれた本県の環境を守り後世に伝えていくため、産業廃棄物の不法投棄の根絶を目指すという内容の「決意宣言」が採択されました。



ブランド農産物を香港へ 香港のテストマーケティング

近年、アジア地域をはじめとして、品質の良い日本の農産物などへの関心が高まっています。このため、県内では梨やいちごを輸出する取組が進められています。11月4日にはJAしおのやから輸出第1弾となる梨「にっこり」が香港向けに発送されました。11月22日から香港シティスーパーの店頭で販売され、好評を博したことから、12月には第2弾が発送されました。



香港シティスーパーで販売



JALおのやで梨「にっこり」の出発式



知事賞(一般写真の部)
片見愛子さん

絆などテーマに写真コンテスト

とちぎ心のルネサンス

「人と人とのふれあい」「コミュニケーション」「絆」「人間愛」等を募集テーマとした2004「とちぎ心のルネサンス」ふれあい写真コンテストに、400点を超える応募がありました。11月に知事賞をはじめ、各賞の発表を行いました(入賞・入選作品は(財)とちぎ青少年こども財団ホームページに掲載)。今後も、このコンテストを契機に、心豊かな青少年を育む県民運動「とちぎ心のルネサンス」を一層進めてまいります。

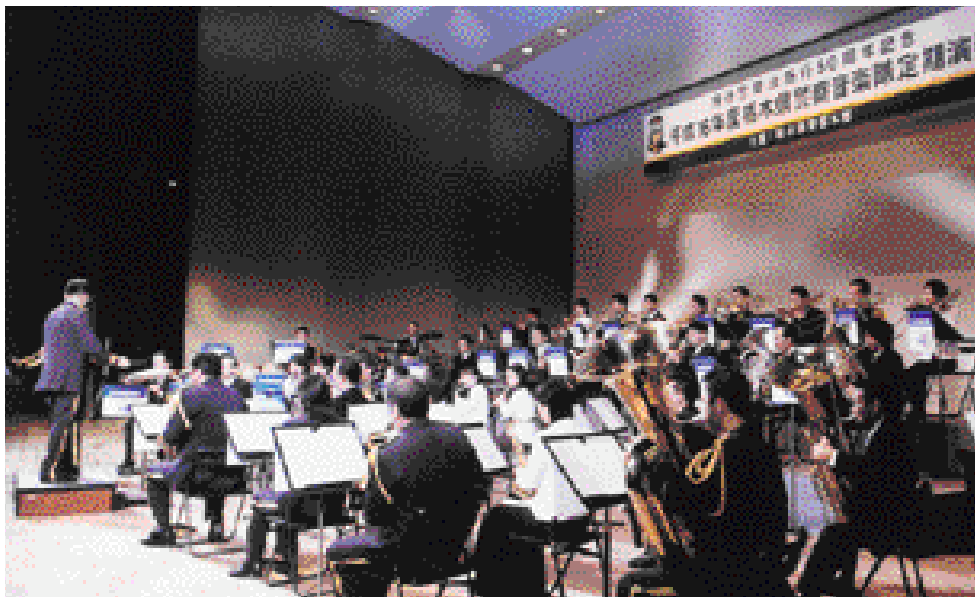


警察法50周年祝い演奏会

県警察音楽隊定期演奏会

警察音楽隊では、現行警察法施行50周年を記念して、県職員で構成されるマロニエウインドオーケストラ、作新学院チアリーディング部、日光猿軍団をゲストに迎え、

3部構成により定期演奏会を11月6日に開催しました。音楽隊は、県民と警察を結ぶ「音の架け橋」として、昭和47年4月に発足して以来県内各地での広報演奏のほか、年1回の定期演奏会を開催しています。



とちぎの魅力を発信

小冊子「とちぎ再発見」を作成

官民合同で開催してきた「とちぎ観光交流戦略会議」の成果を活かして、県では11月に小冊子「とちぎ再発見」を作成し、旅行エージェントやマスコミに対して、新たなとちぎの魅力を発信しています。

優れた乳牛が大集合

ファームフェスタプレ大会

「第17回栃木県ホルスタイン共進会・第1回栃木県ジャージー共進会」が11月3日、壬生町で開催されました。会場では、91頭の優秀な乳牛が集まり、共進会（品評会）を行ったほか、マスコットキヤラクターによる大会PRや、牛乳・乳製品の試食・販売、搾乳体験、県試験場の研究成果の展示など「見て・学んで・楽しむ」多彩な催しが行われ、約5万人の来場者でにぎわいました。05年11月には、全国規模の「とちぎファームフェスタ2005」が開催されますので、皆様のご来場をお待ちしています。





ものづくりの楽しさを

ものづくりフェスタ 2004

11月13日に県立県央高等産業技術学校（宇都宮市）で「とちぎものづくりフェスタ2004」が開催されました。このフェスタでは、若年技能者が日ごろの訓練の成果を競う技能競技大会をはじめ、優秀技能者によるデモンストラーションや一般の人が参加できる体験教室などが行われました。また、当日は県央高等産業技術学校の学校祭も同時に開催され、子どもからお年寄りまで多くの来場者でにぎわいました。



新技術・新製品を一堂に

とちぎ産業フェア

11月18日から3日間、マロニエプラザで「とちぎ産業フェア2004」が開催されました。新技術や新製品などを一堂に展示紹介し、企業の方々の新たなビジネスチャンスを支援するために開かれたものです。今回は、県内大企業が発注している部品の展示と情報提供を行うコーナーや新たに販路を開拓するための相談コーナーが新設されたほか、産学官連携の取組みなどが紹介されました。



行政・企業が意見交換

県民相談相互支援ネットワーク会議

国や県などの相談窓口を持つ関係機関・団体により01年に設立した「県民相談相互支援ネットワーク」の担当者による5回目の会議を11月19日に開催しました。公共機関や企業のほか弁護士なども出席して、より一層県民の期待に応え利便性の向上を目指し、相互の緊密な連携を図るための意見交換などを行いました。

統計功勞者入賞者を表彰

県統計大会開催

第42回栃木県統計大会が11月30日に宇都宮市文化会館で開催されました。大会では統計功勞者と統計グラフ栃木県コンクール入賞者などの表彰を行い、統計の普及啓発と県内の統計関係者の志気高揚を図るとともに、大会参加者の決意を表す大会宣言が満場の拍手で採択されました。



文化活動でこころの交流

カルフルとちぎ・こころのつどい

11月26日と27日、障害者文化祭「カルフルとちぎ2004こころのつどい」が開催されました。文化祭には県内各地の障害者の方が

たくさん参加し、日頃の文化活動の成果を発表しました。また、当日は多くの県民の方が来場し、障害者の方と一緒にイベントに参加するなど心の交流を深め、広く障害者の福祉について理解と関心を深めてもらうことができました。



栃木市の例幣使街道



美しい景観づくりを推進

マロニエ建築・景観賞

栃木県景観条例の施行に伴い、良好な景観を表彰する景観部門が新設された「平成16年度栃木県マロニエ建築・景観賞」の表彰式が11月24日県総合文化センターで行われました。マロニエ建築・景観賞の建築文化部門に「小俣幼児生活団園舎」、人にやさしい建築物部門に「日光の家」が選ばれ、また、奨励賞の建築文化部門に「富士見ヶ丘の住宅」と「HAT」、景観部門に「益子町城内坂」と「栃木の例幣使街道」が選ばれました。



益子町城内坂



緊急避難場所を設置

かけこみ110番の店

社団法人栃木県自動車整備振興会と栃木県警察は、安全で安心できる地域社会の実現に向けて、同振興会の自動車整備工場などに、犯罪被害の緊急避難場所として利用できる「まちのオアシスステーション」を、かけこみ110番の事業場」を設置する協定書調印式を行いました。子ども、女性、お年寄りなど救助を求める人を保護して、警察へ通報するなど、犯罪や事故などの防止活動に協力します。

2004 県政のおゆみ

	29 日光だいや川公園インフォメーションエリア開園(今市市)
	8 県植樹祭・とちぎグリーンフェア(小山市)
	・ 栃木県高等学校総合体育大会開会式(宇都宮市)
	15 県看護大会
	20 「とちぎファームフェスタ2005」実行委員会開催
	・ とちぎ難病相談支援センター開設
	21 県の公式ホームページが全国広報コンクールで特選(総務大臣賞)に
5月	23 「みんなの森植樹活動」(矢板市・県民の森)
	25 首都機能移転北東地域県議会連絡協議会共同事業(国会議員、内閣、国土交通省に要望活動)
	26 「ねりんピックとちぎ2004」(5月30日まで)
	28 初の電子入札を実施
	29 「とちぎ県民カレッジ」開講式
	・ 「とちの環県民会議」が、とちぎ健康の森で定期総会
	・ 栃木県ゆうあいピック大会
	30 環境美化キャンペーン(県内全域)
	1 「不法投棄パトロール隊」が出発式(宇都宮市)
	・ 「いい湯だな〜とちぎの温泉」テレビCM放送(30日まで)
	・ 高齢者交通事故防止モデル地区を指定(05年5月まで)
6月	12 県民の日記念行事(那須野が原公園・高根沢町元氣あっぶむら)(13日まで)
	15 県民の日記念式典(県総合文化センター)
	22 栃木県食品安全推進本部発足
	27 男女共同参画を考える「とちぎ県民のつどい」(宇都宮市)
	30 「とちぎ地産地消県民運動」実行委員会を設立
	1 「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会(宇都宮市)
	2 交通安全子供自転車栃木県大会
	4 「やすらぎの栃木路」大阪キャンペーン・旅行エージェンツプレゼンテーション(6日まで)
	7 「栃木県食品表示ウォッチャー」を委嘱
7月	12 栃木県食品安全推進懇話会発足
	16 「やすらぎの栃木路」横浜キャンペーン・夏(18日まで)
	23 「フロンティア企業」を認証
	・ 「ワクワク夢体験の船」が出発(小中学生200人を北海道に派遣)(7月28日まで)
	28 「第46回自然公園大会」(塩原町=現・那須塩原市)(29日まで)
	・ 「西鬼怒川グランドワーク活動センター」が落成
8月	1 夏の省エネキャンペーン(県子ども総合科学館)
	3 水の週間行事「水の講演会」
	・ 新宿駅西口「やすらぎの栃木路」フェア2004(9月3日まで)
	9 道の駅「にしなすの」登録(西那須野町=現・那須塩原市)

	1 鹿沼警察署の新庁舎が落成
	7 県農業士、女性農業士、名誉農業士あわせて23人を認定
7月	16 「県民防災の集い」
	26 交通死亡事故抑止対策重点警察署を指定、特別対策
	28 国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会(本県選手団を青森県に派遣)(2月1日まで)
	2 大阪観光展(4日まで)
	6 県文化振興大会(那須町)
	8 栃の菓園体記念「第21回健康マラソン大会」
	14 「エコテックとちの環2004」(県産業技術センター)(15日まで)
	16 首都機能移転北東地域県議会連絡協議会共同事業(政党間両院協議会座長らと意見交換会を実施)
	18 観光PRのため香港のマスコミを招請(新聞社)(23日まで)
2月	19 「やすらぎの栃木路」ウエルカム2004(東京都)
	20 「とちぎ花フェスタ2004inもおか」
	21 国民体育大会冬季大会スキー競技会(本県選手団を山形県に派遣)(24日まで)
	21 地球温暖化防止啓発演劇「ちきゅうがおねつだ!」第1回公演(県総合文化センター)
	・ 父親の育児参加の促進シンポジウム(宇都宮市)
	27 国会等移転先候補地共同事業(政党間両院協議会委員に要望活動)
	12 「やすらぎの栃木路」横浜キャンペーン(14日まで)
	22 新県庁舎の概要を公表
	26 県立高等学校再編計画を策定
3月	30 国会等移転先候補地共同事業(3候補地8府県知事と政党間両院協議会委員との懇談会開催、3候補地8府県知事による「首都機能移転研究会」開催)
	・ 都市計画道路沼和田川原田線(川原田工区)が部分開通(栃木市)
	1 「なす高原自然の家」オープン
	・ 医療安全相談センター開設
	5 「とちぎ就職支援センター」オープン
4月	6 春の交通安全県民総ぐるみ運動(15日まで)
	15 「やすらぎの栃木路」フェアinインディ(17日まで)
	26 市町村長会議(宇都宮市)(8月26日に2回目開催)
	・ 「食品に関するリスクコミュニケーション」開催
	27 林業センター木材研究施設が開所

10月	14 「栃木県生活環境の保全等に関する条例」公布
	15 「栃木県伝統工芸士」を認定
	16 「食と農の郷とちぎウィーク2004」開幕 ・「第22回栃木県花と緑と公園のつどい」(壬生町) ・栃木県技能展(17日まで)
	17 「コンセール・マロニエ21」表彰式(県総合文化センター)
	18 「とちぎテクノモール」
	20 「県産農産物活用学校給食デー」(21日まで)
	21 「栃木県伝統工芸品展」(25日まで)
	22 「不法投棄防止のつどい」(小山市) ・「ふるさと栃木フェア2004」(24日まで)
	23 「クリーンアップフェア2004」(県子ども総合科学館)(24日まで) ・国民体育大会秋季大会(本県選手団を埼玉県に派遣)(28日まで) ・「食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション」
	27 国会等移転先候補地共同事業(全国会議員に要望活動)
11月	29 「栃木県児童生徒発明工夫展覧会」(31日まで) ・新潟県中越地震に、医療チーム派遣(11月4日まで)
	30 「とちぎ夢大地応援団」がボランティア実践活動(烏山町)
	4 「環境と調和した農業生産シンポジウム」
	6 「世界遺産サミットin日光」(7日まで)
	8 県文化功労者表彰式(県公館)
	13 「とちぎ“ものづくりフェスタ”2004」 ・「とちぎ教育振興大会」 ・「フェスタinバルティ」
	17 交通安全県民大会
	18 「とちぎデザイン大賞・Tマーク商品」展示会(20日まで) ・「とちぎ産業フェア2004」(20日まで)
	22 なし「にっこり」香港でのテスト販売開始
	23 消費者フォーラム(真岡市)
12月	26 「とちぎマーケティング戦略2004」(東京都) ・職業能力開発促進大会 ・県障害者文化祭「カルフルとちぎ2004ころのつどい」
	27 「アミークスフェスティバル」(28日まで)(宇都宮市)
	28 県知事選挙、県議会議員補欠選挙
	30 県統計大会
	1 「ヒューマンフェスタとちぎ2004」(県総合文化センター) ・人権啓発資料展(県総合文化センター)(5日まで)
	2 県芸術祭表彰式(県公館)
	3 森林・林業関係コンクール表彰式
	4 男女共同参画地域連携フォーラム(小川町)
	11 年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)

8月	20 全国中学校体育大会ソフトテニス大会(黒磯市=現・那須遠原市)(22日まで) ・全国中学校体育大会剣道大会(小山市)(22日まで) ・とちぎ子ども医療センター開設	
	21 「みんなの森下刈活動」(矢板市 県民の森)	
	29 県・日光市総合防災訓練(日光市)	
	30 「ヒューマンフェスタとちぎ2004inサマー」=映画と講演のつどい=(県総合文化センター)	
	31 「栃木県版レッドリスト」公表 1 「企業立地セミナーin東京」 ・「県立のざわ養護学校移転」 ・台湾への観光ミッション派遣(5日まで)	
	2 県民福祉のつどい	
	7 「東京国際ナショナルギフトショー秋2004」出展(10日まで)	
	9 救急医療週間記念大会 ・県公衆衛生大会	
	11 国民体育大会夏季大会(本県選手団を埼玉県に派遣)(14日まで)	
	9月	13 「県民の警察官」を表彰 ・観光PRのため香港マスコミを招請(雑誌社)(17日まで)
15 「とちぎ就職支援センター ヤングフォーラム」		
16 「交通安全の火」分火式(宇都宮市)		
18 県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル		
21 秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)		
24 アテネオリンピックで活躍した本県関係選手を知事が特別表彰		
25 県芸術祭美術展(11月2日まで)(県立美術館など)		
27 県立文書館企画展「4代目県庁舎建設の記録」(10月15日まで)		
10月		1 県警察のホームページで市町村別犯罪発生状況マップを公開
		5 女性の海外研修(12日まで) ・交通功労者などを表彰
	6 「栃木県発明展覧会」(8日まで)	
	8 「とちぎユビキタス講演会」 ・県広域消防応援訓練(宇都宮市)	
	9 「とちぎ国際ナショナルフェスティバル2004」(県子ども総合科学館) ・「とちぎグリーンフェスタ・みかも山」(17日まで)	
	10 「栃木県子ども読書活動推進フォーラム」	
	11 「もくもくまつり2004・とちぎ木の県推進大会」 ・新県庁舎建設工事着手(工事期間07年10月31日まで)	